

曲目：モーツァルト：ホルン協奏曲第一番
ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
サラサーテ：カルメンファンタジー

演奏：ホルン 福川 伸陽 （日本フィル首席ホルン奏者）
ピアノ 福原 佳三

日時：2009 年 5 月 14 日（木）12：15～45

場所：東北大学川内北キャンパス
学生実験棟中庭

入場無料
たくさんの方の
ご来聴お待ちしております

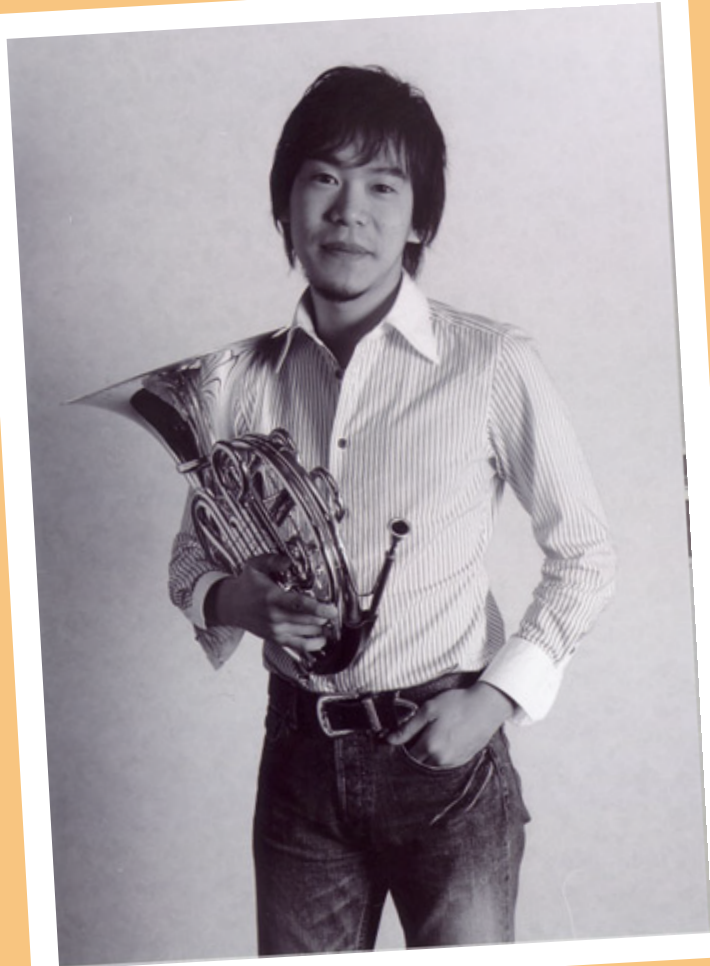


Lunchtime Concert

ランチタイムコンサート 2009

福川 伸陽 Nobuaki Fukukawa

1981 年、神奈川県出身。
ホルンを丸山勉、田中正大、ブルーノ・シュナイダーの各氏に師事。
2000 年武蔵野音楽大学入学。
在学中に「彩の国さいたま新進音楽家オーディション」など、多数のコンクール、オーディションに合格。
2003 年より日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。
2003 年第 20 回日本管打楽器コンクール第二位。
2005 年第 74 回日本音楽コンクール第二位。
2008 年第 77 回日本音楽コンクール第一位。
2004 年より、全国各地でリサイタルを開催。
ホルン独奏の幅広いレパートリーと共に、他楽器とのトリオをはじめとする珍しい室内楽を多数紹介している。特に 2008 年 10 月の東京文化会館でのリサイタルは音楽誌などで絶賛された。
また、国際協力活動にも非常に熱心に参加し、年に一回のチャリティーコンサートの他、2005 年 8 月には現地 NGO「ekmattra」主催、NGO「Shaplaneer」と在バングラデシュ日本大使館後援による、同国初のホルンリサイタル（ストリートチルドレンの為のチャリティーコンサート）を首都ダッカで開いた。
ソリストとしての活動は上記に止まらず、下野竜也指揮、日本フィルとシューマン作曲「4 本のホルンのためのコンチェルトシュトゥック」を丸山勉らと演奏し、念願の師弟ソリスト共演を果たした。また、日本人として初めてオリヴァー・ナッセンのホルン協奏曲を沼尻竜典指揮、日本フィル定期演奏会で演奏、好評を博す。その他に、モーツァルト、リヒャルトシュトラウス、ブリテン等のホルン協奏曲を小林研一郎、日本フィル他と共演。2006 年より一年間、アフィニス文化財団の奨学金を得てロンドンに留学し、デヴィッド・パイアット、ジョナサン・リプトンの両氏に師事し、ロンドン交響楽団にも客演した。
ヨーク・ボウエンや、ヴォーン・ウィリアムズなど、知られていないイギリスの作曲家、作品などを日本初演したほか、2009 年には、藤岡幸夫指揮、東京フィルハーモニー交響楽団とルース・ギブスのホルン協奏曲作品 58 も日本初演するなど、ホルンを中心とした曲の紹介にも意欲的に取り組んでいる。
ムジカ・ヴィッツ、つの笛集団等のメンバーとしての室内楽活動も盛んである。
ホームページ <http://kajiguria.com/nobuweb/index.html>



福原 佳三 keizou Fukuhara

室蘭市出身。
'86 年、在学中に宮城フィル（現仙台フィル）特別演奏会「協奏曲のタベ」に出演。
'93 年、初の自主ピアノリサイタルを開催。以降ソロリタイタルの他、オーケストラ共演、室内楽、声楽リサイタルのピアニストとしても積極的に活躍する。
これまでに、仙台フィルの他、ウィーン・グスタフ・マーラー弦楽四重奏団、元イ・ムジチ合奏団リーダー・フェデリコ・アゴスティーニ氏らと共演し成功を収める。2003 年 8 月交通事故によって後頭部を強打し、左手を中心とするあらゆる機能の感覚が失われるが、驚異的なリハビリによって、'07 年 5 月 2 日にリサイタル「ベートーヴェンチクルス Vol.IV」で復帰。

